

輝く未来へ しほろ創生

広報

しほろ

2023
No.750

5



歌留茶
カルチャー 921



■主な内容

- ・令和5年度まちの主要な事業 P2-3
- ・町税および保険料の納期内納付にご協力をお願いします P4-5
- ・ようこそ先生♪～着任した教職員を紹介します～ P6-8
- ・課長職・新規採用職員等のご紹介／派遣研修を終えて P9-10
- ・士幌町総合研修センター 指定管理者職員を紹介します P15
- ・心配ごと、悩みごとをひとりで抱えていませんか？ P16
- ・国民年金からのお知らせ P17

士幌小学校 青空安全教室

まちの主要な事業

令和5年度

土幌町の令和5年度予算は、一般会計と6特別会計1事業会計を合わせた総額で117億6,168万円(骨格予算比9.3%増、肉付予算比0.9%増)となりました。

今回は、令和5年度に実施する町の事業のうち、町民の皆さんに直接関わりのある事業を中心に、主要な事業の一部を紹介します。

なお、詳細は町民総合情報紙をご覧ください、それぞれの担当課にお問い合わせください。

※広報しほろ5月号と合わせて配布されます「土幌町機構図」の裏面に、担当課の直通電話番号(ダイヤルイン)が掲載されていますので、お問い合わせの際はご利用ください。

子育て・福祉

学校給食費無償化事業

2,722万円

小・中学校の給食費を無償化します。

担当 学校給食センター
(電話 5-2672)

各種検定受験料助成

121万円

小・中学生を対象に漢字検定等の各種検定受験料を助成します。

担当 教育課学校教育係
(総合研修センター内 電話 5-4732)

デジタル教科書事業

127万円

小・中学校の全学年に対し、2教科のデジタル教科書を配布します。

担当 教育課学校教育係
(総合研修センター内 電話 5-4732)

高齢者等移動支援事業助成

560万円

士幌市街区域外の運転免許証の不保持高齢者等へのタクシー助成をします。

担当 保健福祉課地域福祉係
(総合福祉センター内 電話 5-2006)

認定こども園・発達相談センター 新築工事業

920万円

認定こども園および発達相談センター新築工事の基本設計を行います。

担当 幼児教育課
(電話 5-2364)
担当 こども発達相談センター
(電話 5-2598)

産前産後ケア事業

70万円

妊娠、出産、子育てに関する不安を取り除くため、専門員への相談や日帰りの産後デイケアを行います。

担当 保健福祉課健康推進係
(総合福祉センター内 電話 5-2108)

住宅・生活・環境など

マイホーム建設支援事業

1,000万円

新築住宅の建設・購入または、中古住宅を購入される方を対象にその費用を助成します。

担当 建設課建築住宅係
(役場庁舎1階 電話5-5216)

公営住宅整備事業

8,983万円

古くなった公営住宅の建替事業です。住みやすい住宅を整備します。
・中土幌新南団地

担当 建設課建築住宅係
(役場庁舎1階 電話5-5216)

住宅リフォーム費用助成事業(拡充)

310万円

住宅リフォームに係る費用を助成します(工事費の10%助成(上限10万円から上限20万円へ増額))。

担当 産業振興課商工観光労働係
(コミセン内 電話5-5213)

移住促進事業補助(拡充)

318万円

士幌町への移住に係る費用を補助します(賃貸住宅家賃への助成を新たに追加)。

担当 産業振興課商工観光労働係
(コミセン内 電話5-5213)

結婚新生活支援事業(拡充)

330万円

新婚世帯の新生活に係る費用を補助します(夫婦ともに29歳以下の場合、上限30万円から上限60万円へ増額)。

担当 地域戦略課まちづくり推進係
(役場庁舎2階 電話5-5212)

エキノコックス対策事業

56万円

エキノコックス駆虫薬の制作協力および感染状況の調査を行います。

担当 産業振興課畜産林務係
(コミセン内 電話5-5220)

LED照明器具工事(町有施設外灯 他)

8,238万円

町有施設外灯、総合福祉センターおよび国保病院の照明をLEDにします。

担当 総務課財政管財係
(役場庁舎2階 電話5-5211)

プラザ緑風再整備事業

2,222万円

しほろ温泉プラザ緑風の再整備に係る設計等を行います。

担当 産業振興課商工観光労働係
(コミセン内 電話5-5213)

町税および保険料の 納期内納付にご協力をお願いします

■町税および保険料の納付について

令和5年度 町税等納期一覧

期別	町道民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税	後期高齢者 医療保険料	介護保険料
第1期	6月16日から 6月30日まで	5月16日から 5月31日まで	5月16日から 5月31日まで	7月16日から7月31日まで		
第2期	8月16日から 8月31日まで	7月16日から 7月31日まで		8月16日から8月31日まで		
第3期	10月16日から 10月31日まで	9月16日から 10月2日まで		10月16日から10月31日まで		
第4期	12月10日から 12月25日まで	11月16日から 11月30日まで		12月10日から12月25日まで		
第5期				1月16日から1月31日まで		
第6期				2月16日から2月29日まで		

○納期内納付

皆さんに納めていただいた町税や保険料は、道路、上下水道、教育や福祉の充実など、毎日の暮らしに必要な様々な住民サービスを提供する上で、とても貴重な欠くことのできない財源です。

納税者の皆さんが、定められた期限までに自主的に納付していただくことが安定した住民サービスの提供にもつながります。

町税や保険料を有効に使うためにも納期内の納付にご協力をお願いします。

○納付場所

- ・ 土幌町役場内出納室窓口（役場1階）
- ・ 土幌町指定金融機関 土幌町農業協同組合本所および各事業所
- ・ 収納代理金融機関 帯広信用金庫土幌支店 北洋銀行帯広中央支店

注）北洋銀行帯広中央支店以外の北洋銀行をご利用される場合は、収納手数料1件800円（税抜）が納税者負担としてかかります。

- ・ ゆうちょ銀行 コンビニエンスストア

○PayPay・LINE Payで納付が可能です

令和3年度からPayPay・LINE Payで納付することができます。
詳しい納付の方法は、納付書発送時に同封するお知らせにてご確認ください。

○地方税共通納税システムでの納付について

令和5年度に発行される固定資産税、軽自動車税の納付書には、二次元コードが記載され「地方税お支払いサイト」から二次元コードを読み取り、クレジットカード等から納付することができます。

○納付に困ったときは

町税や保険料を納期限までに納めることは原則ですが、病気、災害、盗難、所得の著しい減少など様々な事情により、納期限までに納付することが困難であると認められる場合は、納付時期を遅らせたり、分割したりして納めることができます。

滞納が累積すると、解消のための負担が大きくなります。また、督促状を放置し、催告を無視しても納付義務が消滅することはありません。納付にお困りの場合は、来庁または電話による相談を受け付けていますので、お早めにご相談ください。

■町税や保険料の口座振替による納付について

口座振替による納付は、預貯金の口座から自動的に納付いただける便利な方法です。納付のために金融機関へ出向く必要も、うっかり納め忘れてしまうということもありませんので、便利で安全・確実な口座振替納付をぜひご利用ください。一度手続きをすると、翌年度以降も自動継続され、それぞれの納期ごとに振替をします（一括での振替はできません）。

○口座振替できる町税・保険料

町・道民税（普通徴収）・固定資産税・軽自動車税
国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料

○口座振替のできる金融機関

- ・土幌町農業協同組合本所
- ・帯広信用金庫土幌支店
- ・ゆうちょ銀行

○申し込み方法

金融機関（農協・信金・ゆうちょ銀行のみ申し込みできます）で、口座振替依頼書にご記入の上、皆さんの預貯金口座に使用されている印鑑を押印して申し込みます。変更および解約の手続きも同様となります。

お問い合わせ

町税・後期高齢者医療保険料 町民課 住民諸税係・資産税係（☎5-5214）
介護保険料 保健福祉課 介護保険係（☎5-2006）

課長職・新規採用職員等のご紹介

4月1日付けで、課長職になった職員と北海道からの派遣・新規採用になりました職員を紹介します。どうぞよろしくお願ひします。

北海道からの
派遣（2年間）



地域戦略課
うえだ みづき
上田 美月



教育委員会事務局
教育課長

かわがし しげかず
川岸 滋一



産業振興課長

ごうはら としひろ
郷原 敏宏



農業委員会事務局
事務局長

かとう よしひろ
加藤 吉宏



町民課

はなもと じゅんせい
花本 隼晟



地域戦略課

わだ しゅんすけ
和田 峻佑



総務課

たけだ こうすけ
武田 康佑



総務課

おかだ せいや
岡田 成哉



国民健康保険病院

ほりぐち さおり
堀口 沙織



保健福祉課

ながい まさふみ
永井 将史



保健福祉課

いちはら はると
市原 陽翔



産業振興課

みなかみ こうた
皆上 晃汰



特別養護老人ホーム
さとう あきこ
佐藤 彰子



特別養護老人ホーム
すぎうら ゆうすけ
杉浦 勇介



特別養護老人ホーム
ろくろうた はるき
六郎田 晴基



特別養護老人ホーム
すずき のあ
鈴木 乃亜



消防課
いとう ゆうき
伊藤 優希



こども発達相談センター
副所長
なか としゆき
仲 敏行



こども発達相談センター
やまざき ひなの
山崎 日菜乃

～ よろしくお願ひいたします ～

◇◇ 派遣研修を終えて ◇◇

北海道庁



地域戦略課
ますだ はじめ
増田 紀

令和3年4月から2年間、北海道庁への派遣研修を終え、土幌町へ帰任いたしました。

北海道庁においては、経済部地域経済局中小企業課小規模企業係へ配属され、主に創業を希望する方々に対する創業支援等を行ってまいりました。

私の主な業務は、国の交付金を活用した起業支援金の交付（地域課題解決型起業支援事業）、外国人起業家に対する在留資格取得支援（北海道スタートアップビザ制度）、官公需施策の推進（中小企業者等に対する受注機会の確保に関する推進方針の策定）など、道内の中小企業者等に対する総合的な支援を行ってまいりました。

この度、4月1日付けで、今年度から新設された地域戦略課へ配属され、主に企画業務を担当することとなりました。北海道庁で学んだことを今後に活かし、土幌町のために邁進してまいります。



防火訓練を実施

〈役場庁舎・コミセン〉

3月15日、役場庁舎・コミュニティセンターにて防火訓練が行われました。

今回は、職員ら約20名が参加し、水消火器を用いた初期消火について学びました。

消火訓練では土幌消防署の伊田開主幹が「火の根本を掃くように」と消火器での消火方法について説明。職員らは一人ひとり訓練用の水消火器を用いて消火訓練を行いました。

伊田主幹は「まず119番に通報するなど助けを呼んでから、無理のない範囲で消火を。自分の命を優先にしてください」と呼びかけました。



在宅子育て世帯

応援給付金を贈呈

〈下戸裕太郎さん家族〉



3月16日、在宅子育て世帯応援給付金が交付されることとなった下戸裕太郎さん家族へ、高木町長から10万円分の商品券が手渡されました。

本事業は、今年度から子育て支援事業として、満1歳児および満2歳児で保育施設等を利用せずに在宅で子育てしているご家庭に対して、子育ての経済的負担を軽減することを目的に、土幌町内で利用できる共通商品券を配布するものです。

下戸さんは「子どものために使わせてもらいます」と話されました。その他、12世帯のご家族に交付決定され順次、配布されました。

全国農業青年クラブ連絡協議会会長賞を受賞

〈香西瑠理子さん〉

3月2日、3日開催の第61回全国青年農業者会議に出場し、全国農業青年クラブ連絡協議会会長賞を受賞された、町内で農業を営む香西瑠理子さんが、3月22日に役場を訪れ、高木町長に大会の結果を報告しました。

昨年の「僕たちが経営者になる話をしよう」では、経営者・後継者の認識等のずれを埋めるには話し合いと事業承継計画の共有が重要とまとめ、今年も事業承継における後継者の育成のために農業経営に必要なスキルをまとめた「できることリストβ版」を作成し全国大会で発表しました。

香西さんは「できることリストβ版をブラッシュアップし、多くの方に活用いただきたい」と今後について話していました。



愛のおまもりを寄贈

〈町商工会女性部〉

3月28日、土幌町商工会女性部(岡崎睦子部長)より、町内の新1年生と2年生へ「愛のおまもり」を寄贈していただきました。

「愛のおまもり」は交通安全や子どもたちの成長への願いを込めた白と黄の市松模様のおまもりで、入学を祝福するメッセージが添えられています。また、コロナ禍で昨年渡すことができなかった新2年生の分も用意していただきました。

岡崎部長は「小学校生活を楽しく、健康にすごして欲しい」と話していました。おまもりは、入学式に、1年生35人と2年生47人に配布されました。

〈心より感謝申し上げます〉



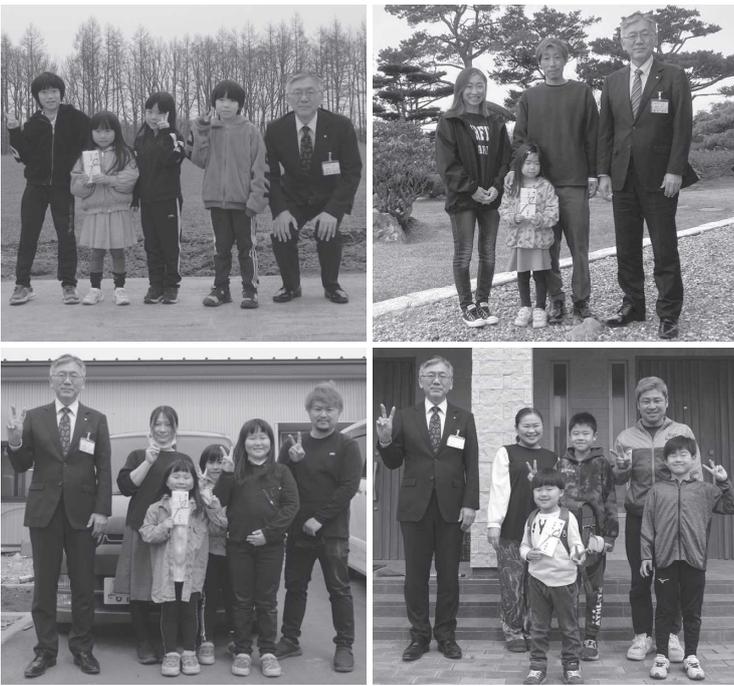
新生活に胸を膨らませ

〈入学祝い金贈呈〉

4月4日から5日にかけて、今年度小学校へ入学する児童(第3子以降)へ入学祝い金が支給され、各家庭を訪問し、高木町長から児童へ手渡されました。

今年度は第3子6名、第4子5名の計11名が対象。新型コロナウイルス感染症防止のため、各家庭の玄関先での贈呈となりました。

高木町長は「入学おめでとう」と声をかけながら一人ひとりに手渡すと、児童らは「ありがとうございます」と元気に受け取り「勉強をがんばりたい!」「給食が楽しみです!」など、小学校での新生活に胸を膨らませていました。



担い手相談員に委嘱

〈中田義弘氏〉

町は令和5年度の担い手相談員として、中田義弘氏を委嘱し、4月6日、委嘱状交付式が執り行われました。

担い手相談員とは、町の未来を担う者の結婚推進、農業後継者の育成確保に関する相談や助言を行います。

この日、町長応接室にて、高木町長より委嘱状が手渡されました。

中田さんは「少しでもお役に立てればとの思いから引き受けた。コロナ禍でなかなか開催できなかったイベント等を推進できれば」と話していました。



移動期日前投票所を開設

〈町選挙管理委員会〉



4月6日、町選挙管理委員会は、北海道知事選挙、北海道議会議員選挙に合わせて、全国的にも珍しく、道内では初めての試みとなる、自宅を訪問する「移動期日前投票所」を開設し、事前に登録した9戸の方が投票を行いました。

この投票所は、高齢、障がい等の理由により、投票所までの移動が困難な方を対象に、投票箱や記載台を載せたジャンボタクシーが自宅前まで行き、有権者が車内に乗り込んで投票するものです。

利用した坂本林子さんは「大事な一票を投じていただけて大変よかったです。今後も続けていただければ」と話していました。

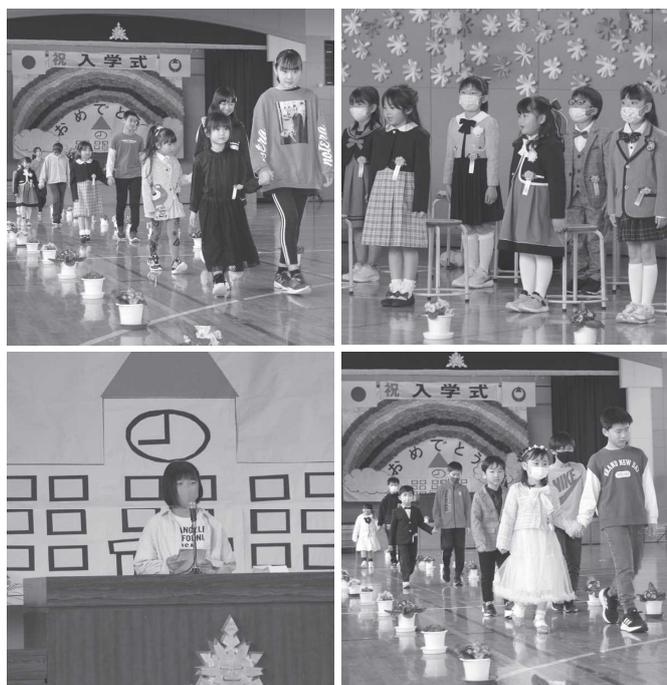
4年ぶり！マスクなしの入学式

〈小中学校で入学式〉

4月10日、町内小中学校で入学式が行われました。土幌小学校では、28名の児童が入学。コロナ禍以降、実に4年ぶりとなるマスクの着脱が自由な入学式となりました。

6年生に手を引かれ、入場した1年生は大きな拍手に包まれ、笑顔あふれる温かい雰囲気の中、家族や在校生、教職員など多くの方に祝福されました。

式辞で川原千暢校長は「元気なあいさつ、失敗を恐れない、交通安全に気を付ける。3つのことをがんばる1年生になってください」と話し、児童会長の山田悠乃さん（6年）は「学校生活に最初はなじめないかもしれませんが元気ががんばって」とエールをおくりました。



交通安全を呼びかけ

〈町生活安全推進協議会〉



4月10日、土幌小学校前にて、町生活安全推進協議会（加納利春会長）が交通安全をよびかけました。

小学校の入学式・始業式の朝に合わせて、児童が安全に登校できるよう協議会が中心となり、駐在所や地域住民、交通安全指導員等が協力して実施しています。

この日、会員らはお揃いの緑色のユニフォームを着用し、交差点や横断歩道付近に立って、「スピードダウン」「シートベルト着用」と書かれた旗をなびかせながら、道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。

青空安全教室を実施

〈土幌小学校1年生〉

4月11日、土幌小学校の新1年生を対象とした「新入学児童青空教室」が実施され、28人が交通ルールを学びました。

4月から通学し始めた新1年生に、交通安全の正しい知識を身につけてもらうことを目的に実施。この日は、実際に校外へ出て、横断歩道の渡り方について学習しました。

児童らは、青信号でも、すぐ渡るのではなく、しっかり左右を確認し、車が止まるのを確認してから渡っていました。

授業終了後、土幌駐在所の鈴木晶之警部補は「下を向かず、周りに目を向けること、道路で遊ばない・飛び出さないこと。この2つを守って元気に登校してください」と呼びかけました。





しほろ健康マイレージビンゴ事業 令和4年度 抽選結果



平成29年度から始めた「しほろ健康マイレージビンゴ事業」令和4年度は21名の方に登録していただきました。21名の登録者のうち投函された方は14名、内訳はビンゴの本数が1～3本が5名、4～6本が4名、7、8本が5名でした。

今回の賞品はビンゴの本数が1～3本部門はスタイラスマグとスポーツタオル、4～6本部門はノルディックポールとスポーツタオル、7、8本部門はいつでもどこでもラジオ体操(体操ブーブー)、まいにち「脳トレ」日めくりとスポーツタオルとなっています。各部門1名ずつの当選となっています。

今回厳正なる抽選の結果、1～3本部門では**鈴木真弓さん**、4～6本部門では**小林啓子さん**、7、8本部門では**小枝ミヨさん**が当選されました。おめでとうございます。

今年度は「しほろ健康マイレージ事業」の内容が新しくなります。詳細は5月末の役場だよりに掲載します。

また登録は6月1日からとなっています。ぜひ登録してスタンプを集めてみてください。



■担当 保健福祉課健康推進係 (総合福祉センター内) 電話 5-2108

人の動き

5,864人(-55) 男2,874人(-41) 女2,990人(-14) 世帯2,766(+18)

※3月末現在()は前年比

家田さんは「責任をもってすいていかなければならないと感じた。今後も質の良い和紙をすいていきたい。」と話していました。

3月23日、美濃和紙伝統工芸士に認定された家田美奈子さんが美濃市役所を訪れ、認定の喜びを報告しました。伝統工芸士とは、経済産業大臣が指定する伝統的工芸品の製造の従事者のうち、高度な技術を持つ職人に与えられるものです。

今回認定を受けた家田さんは1999年の美濃・手すき和紙基礎スクールを受講。翌年澤村正さんに4年間弟子入りし、独立後は3人の子育てをしながら紙すきを続け、現在は工房を構え本美濃紙や薄美濃紙を中心にすいています。

美濃和紙伝統工芸士の 認定報告会が行われました



▲美濃和紙伝統工芸士は10年ぶりに認定され、8人となりました。

美濃のまちから

士幌町総合研修センター 指定管理者 職員を紹介します

士幌町総合研修センターでは、4月1日より指定管理者制度を導入し、受託業者である株式会社オカモトが施設利用予約受付や図書館での本の貸出業務などを行っています。今回は、指定管理業務に従事している職員の皆さんを紹介します。



金徳 聖也

スタッフ一同明るく元気に皆様のご来館をお待ちしております。町で見かけたらぜひ声をかけてください！



高森 将太

初めての文化施設で不慣れな部分がありますが、皆様とたくさん交流し、皆様のお力になれるよう頑張ります。



吉田 真由

主に図書館にいます。図書業務以外は不慣れな部分がありますが、利用しやすい施設づくりに努めたいです。



菅野しおり

皆様に気軽にお越しいただけるような雰囲気づくりができればと思います。頑張ります！



中田 悠翔

ご迷惑をおかけする部分があると思いますが、精一杯がんばりたいと思います！



西村小百合

緊張すると自分でもなにかを言っているかわからないくらい噛みます(笑)どうぞよろしく願いいたします。

●施設の利用について

- ・開館時間 午前9時～午後10時（ただし、すこやか体育館は午後9時30分まで、したしみ図書館は午前10時～午後6時までです）
 - ・休館日 毎週火曜日と年末年始（12月29日～1月3日）
 - ・申込 (指定管理者)株式会社オカモト 電話番号 01564-5-2281
メールアドレス：souken-2281@okamoto-group.co.jp
- ※受付時間 午前8時30分～午後5時15分(月・水～金)

お問い合わせ

(指定管理者)株式会社オカモト 01564-5-2281 (※施設の予約等)
(担当)教育委員会教育課社会教育係 01564-5-4733

心配ごと、悩みごとを ひとりで抱えていませんか？

民生委員児童委員は、あなたの身近な相談相手として、その内容に応じて関係機関への「つなぎ役」になります。

○住民の立場に立って、まちの福祉を担うボランティアです。

民生委員児童委員は、民生委員法により厚生労働大臣から委嘱された無報酬のボランティアです。

○さまざまな相談に応じます。

地域に暮らす身近な相談相手として、医療や介護、子育ての不安など、住民のさまざまな相談に応じています。そして課題が解決できるよう、行政機関をはじめ、必要な支援への「つなぎ役」になります。

○安心してご相談ください。

民生委員児童委員には民生委員法に定められた守秘義務があり、相談内容が他の人に伝わることはありません。

民生児童委員 氏名	担当地区	民生児童委員 氏名	担当地区
佐藤 智恵 (中士幌東団地)	明生・中士幌北・中士幌北団地 ・中士幌東団地・旧駅前通以北 中士幌西	前田 美智子 (中士幌新南)	中士幌・文化・共進・中士幌新 南・中士幌南・旧駅前通以南中 士幌西
辻 千鶴子 (睦西)	睦・睦西・睦南・美園	本田 光一 (大通西)	柏葉・みどり・大通・大通西
岡部 厚子 (南団地)	南団地・緑光	山中 洋子 (若葉)	互譲・若葉・若葉第一・本通・ 若葉東
土橋 美恵子 (高德)	仲通・中央・高德	牛渡 ひろみ (平原第一)	松並・平原・平原第一・いこい
石丸 美木子 (新生)	神苑・新生	川口 太一 (士幌南一区)	士幌南一区(東和・瑞穂)・実勝・ 勝和・中士幌(昭和南団地)・ 豊進
藤内 明子 (士幌南旭区)	士幌南一区(南士幌・日の出・ 東雲)・常盤・西士幌・士幌南 旭区	角田 富美幸 (士幌北一区)	百戸・士幌北一区・平和
和田 晴男 (佐倉南区)	全佐倉地区	河村 敏弘 (松室)	全上居辺地区
神屋 信勇 (清澄)	全下居辺地区	河江 依子 (吉野)	全中音更地区
及川 正義 (栄進)	全新田地区	樋口 正寛 (西上)	全西上地区
中田 まゆみ (常盤)	町内全域【主任児童委員】	杉田 創造 (互譲)	町内全域【主任児童委員】

民生委員児童委員についてのお問い合わせは

保健福祉課地域福祉係までお願いします。

〒080-1219河東郡士幌町字士幌西2線167番地

士幌町総合福祉センター内 電話5-2006

国民年金からのお知らせ

○国民年金保険料について

令和5年度の国民年金保険料額は、月額16,520円となりました。

○保険料免除制度について

所得が少ないときや失業等により保険料を納めることができない場合には、本人の申請によって、保険料納付が免除される制度があります。

①免除（全額免除・一部免除）申請

本人、配偶者、世帯主それぞれの前年所得が一定額以下の場合や、失業等の事由がある場合に、保険料が全額免除または一部免除となります。

②納付猶予申請

50歳未満の方で、本人、配偶者それぞれの前年所得が一定額以下の場合に、納付が猶予されます。

③学生納付特例申請

学生の方で、本人の前年所得が一定額以下の場合に、納付が猶予されます。

なお、付加年金または国民年金基金に加入中の場合、免除等が承認されると脱退となります。

○過去2年間に国民年金保険料の未納期間がある方へ

一定の将来期間のほか、過去2年(申請月の2年1か月前の月分)まで溯って免除を申請できます。ただし、申請が遅れると万一のときに障害年金が受け取れないなどの不利益が生じる場合がありますので、速やかに申請してください。

「納付・全額免除・一部免除・納付猶予」と「未納」の違い

	納付	全額免除	一部免除	納付猶予 (学生納付特例)	未納
老齢・障害・遺族基礎年金の受給資格期間に	含まれる	含まれる	含まれる (注2)	含まれる	含まれない
老齢基礎年金額の計算に	含まれる	含まれる (注1)	含まれる (注1.2)	含まれない	含まれない

(注1) 保険料を納めた場合と比べて、受け取る年金額は次のとおりです。(H21.4以降)

- ・全額免除の場合～2分の1
- ・4分の3免除の場合～8分の5
- ・半額免除の場合～4分の3
- ・4分の1免除の場合～8分の7

(注2) 一部免除については、減額された保険料を納めないまま2年を超えると、時効により納めることができなくなりますのでご注意ください。

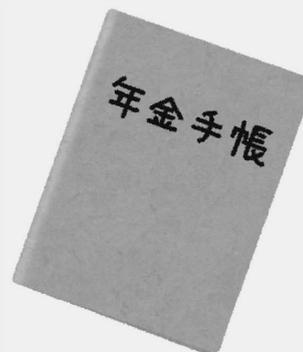
お問い合わせ

町民課住民年金係

電話 5-5231

帯広年金事務所

電話 0155-25-8113



健康ニュース

～ 令和5年度からの新たな助成事業をお知らせします ～

1. 带状疱疹ワクチン助成事業

▼助成対象者 次のいずれにも該当する方

- ①土幌町に住民票があり、接種日に50歳以上の方
- ②50歳以上でこの予防接種を受けたことがない方

(生ワクチンは1回、不活化ワクチンは2回接種済みの方は助成対象外)

▼接種場所 土幌町国民健康保険病院 (※他の医療機関での接種は助成になりません)

毎週水曜日(不活化ワクチン)と、毎週金曜日(生ワクチン)

いずれも14:00～15:00

※施設入所などにより国保病院で接種できない方は保健福祉課までご連絡ください。

▼ワクチンの金額と種類

ワクチンの種類	自己負担額	接種方法	接種回数	特徴
不活化ワクチン (带状疱疹ワクチン)	1回 11,930円 (2回接種が必要) ----- 1回の接種に23,730円かかりますが、町が11,800円を2回分助成します。	筋肉注射	2回	带状疱疹ワクチンを2か月間隔で2回接種する(1回目接種から2か月後に2回目を接種)。50歳以上で約97%、70歳以上で約89%の有効性。70%以上の方に接種部位の疼痛などの副反応が起こります。
生ワクチン (水痘ワクチン)	4,750円 (1回接種) ----- 1回の接種に9,350円かかりますが、町が4,600円を助成します。	皮下注射	1回	水痘ワクチンを1回接種する。50歳代で約93%、70歳代で約78%が免疫上昇。主な副反応は接種部位の紅斑、かゆみ。 ※この生ワクチンは、明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する方、免疫抑制をきたす治療を受けている方は接種できません。

▼申込 1週間前までに予約が必要(予約先 保健福祉課健康推進係 電話5-2108)

2. 不妊治療費助成事業

▼助成対象者 次のいずれにも該当する方

- ①夫婦共に治療時、申請時ともに土幌町内に住所を有し、町税を滞納していない方
- ②夫婦間の子として実施する不妊治療をされている方
- ③他の市町村から、同種の給付金などを受けていない方

▼助成額 令和5年4月から治療を開始した、一般・特定不妊治療が対象

保険診療に要した自己負担費用のうち、下記を助成します。先進医療などの保険診療外については助成の対象となりません。

1. 一般不妊治療 保険適応医療費の自己負担額の2/3まで。
年度内10万円までを上限に助成
2. 特定不妊治療 保険適応医療費の自己負担額の2/3まで。
1クール10万円までを上限に助成

※いずれの治療も、高額療養費などの給付や付加給付を受ける場合は、自己給付額から給付の額を差し引いた自己負担額に対して助成します。

▼助成額の申請について 治療終了後に申請をしてください。申請は治療を終了した日の属する年度です。申請については健康推進係(保健師)が窓口となります。

助成申請窓口 保健福祉課健康推進係(電話番号5-2108)

●お問い合わせ 総合福祉センター内 保健福祉課健康推進係 電話5-2108



こどもだより

「令和5年度スタート♪」

認定子ども園長 渋谷 浩



令和5年度は新入園児22名、
継続児93名の115名で始まりま
した。

4月7日に入園式を実施。今年も新型コロナ
ウイルス感染症対策のため、新入園児とその保
護者のみで執り行いました。そのため、継続児
などのクラスのお友達と顔を合わせるとい
うことはできませんでしたが、10日からは通常通
りスタート♪少しずつ新しい環境やお友達に慣
れ、新入園児も継続児も共に楽しい園生活が送
れるように、職員が一体となり努めてまいりま
す。ご家庭でもお子さまを励まし送り出して
いただけたら幸いです。

保護者の皆さまはもちろん、関係する皆さま
のご理解、ご協力をいただきながら、左記「5
つの目標」に向け一歩一歩進んでまいります。
よろしく願いいたします。

【認定子ども園「なかよし」5つの目標】

- 1 元気な子 (こころ)**
 - ・ 基本的な生活習慣
 - ・ 食生活
 - ・ 体力
 - ・ 挑戦力
 - ・ 危機回避能力
- 2 仲良く遊ぶ子 (とんとん)**
 - ・ 自立心
 - ・ 自尊感情
 - ・ 協働性
 - ・ コミュニケーション力
- 3 思いやる子 (しんしん)**
 - ・ 道徳性
 - ・ 規範意識の芽生え
 - ・ 社会生活との関わり
 - ・ 自然との関わり
 - ・ 生命尊重
- 4 考える子 (いきいき)**
 - ・ 思考力の芽生え
 - ・ 数量、図形、文字などへの関心や
感覚
 - ・ 好奇心
 - ・ 探求心
- 5 表現する子 (はきはき)**
 - ・ 言葉による伝え合い
 - ・ 豊かな感性と表現
科学的の芽

連絡先 認定子ども園なかよし 幼児教育課 電話5-2364 (相談専用) 電話5-2502



特養だより



「新入職員の紹介です！」

今回は、今年度新たに仲間入りした介護職員の紹介です。

【杉浦 勇介】(すぎうら ゆうすけ)

- 年齢：41歳 ●資格：介護福祉士
- 出身地：音更町
- 出身校：帯広コア専門学校
- 趣味・特技：旅行・ドライブ
- 介護士を目指した理由：子供の頃、同居している祖母によく面倒を見てもらったので、将来恩返しをしたいと思ったからです。
- 今後の抱負：1日も早く仕事を覚え、土幌町の高齢者介護、地域に貢献していきたいと思ひます。



【六郎田 晴基】(ろくろうた はるき)

- 年齢：39歳 ●資格：介護福祉士
- 出身地：幕別町
- 出身校：帯広コア専門学校
- 趣味・特技：料理
- 介護士を目指した理由：学生時代にボランティアでディサービスセンターに行き、楽しかった事から興味を持ちました。
- 今後の抱負：利用者様が安心して、笑顔になっていただけるようなスタッフになりたいです。



連絡先 特別養護老人ホームほほえみ 電話5-2416

小児科外来の開設について

5月8日より、次のとおり小児科外来を開設します。

ぜん息をはじめ、発熱や吐き気、下痢など感染症が疑われる場合にも、医師の判断により検査しますので、ご相談ください。

診察は、元小児科専門医・指導医の隅医師が担当します。



隅 達則 医師

○小児科外来診察日

診察日	受付時間	診察時間
毎週 月・水・金曜日	8:40~11:30	9:00~12:00

※上記以外の診察につきましては、国保病院までご相談ください。

○診察予約は必要ありません

- ・お子さんの具合により診察順番が前後することがあります。
- ・当面は内科との併診のため、診察までお待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※外来にはいろいろな患者様がいらっしゃいます。感染症の流行を防ぐため、一般外来と分かれて診察します。

※小児科外来を受診の際は受付にお伝えください。

眼科外来について

4月より眼科の担当医が変更になりましたので、ご紹介します。

担当医：長谷 敬太郎 医師
所属：北海道大学大学院医学研究院
眼科学教室 特任助教

研究分野：網膜細胞生物学

資格：日本眼科学会認定専門医

診察日：毎週木曜日 午前

※写真は北海道大学大学院医学研究院 眼科学教室ホームページより引用



長谷 敬太郎 医師

●国民健康保険病院 電話 5 - 2 1 0 6

安全・環境だより

旗なみ運動を 実施しました

入学式の朝、土幌小学校において、各地区公民館、生活安全推進協議会役員の方々と、児童の登校時間帯に、道行くドライバーへ安全運転を呼びかける「旗なみ運動」を実施しました。

春から通学(園)を始める児童は「どび出し」などの危ない行動をしがちです。ドライバーの皆さんは時間にゆとりを持ち、特にスクーターゾーンにおいては、すぐに止まれるスピードで走行することを心がけましょう。



ごみの出し方 再確認

◆必ず収集日の朝8時までに出しましょう！

家庭ごみを排出される際、ごみが動物に荒らされないように、ごみネットを被せて排出される場合がありますが、ネットの四隅に重石がないことから、風でごみが飛散したり、ガラスやキツネ等が荒らしたりすることが見受けられます。ネットの四隅には重石を載せて排出するようお願いいたします。



望ましい事例

◆スプレー缶等の排出方法

町では、スプレー缶の排出は、「中身を使い切り」「穴を開けて」排出いただくようご案内していますが、中身を出し切る際や穴を開ける際は、事故防止のため、必ず風通しの良い屋外で作業を行うようお願いいたします。

「ふん」を持ち帰らずに 放置していませんか？

一番多い苦情です。自宅前に「ふん」が落ちていると気分が悪いですよね。住宅地でも農道でも同じです。散歩させる際には、必ずミニシヨベルや袋などを持参し、飼い主が責任を持って片付けましょう。

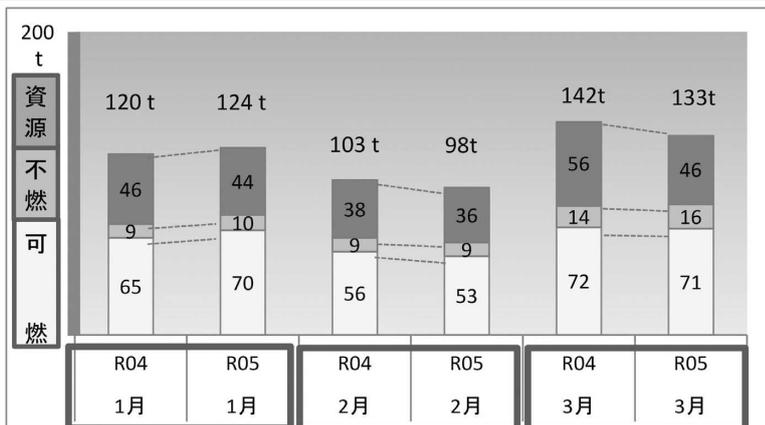
近隣の方々の快適な居住環境を守り、未永くお付き合いをしていくため、思いやりを忘れず、犬を飼うマナーを守りましょう。



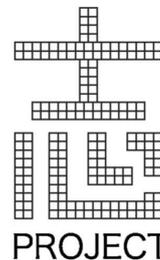
前年度との ごみ発生量の比較

1月から3月までの各種ごみの発生量を前年と比較したグラフです。前年度と比較してごみの発生量は横ばい傾向にあります。

資源として分別できるものはリサイクル業者等へ持ち込むなどごみの減量に今後ともご協力をお願いします。



いま、土幌高校では



ヌプカウシヌプリの麓でも雪解けが進み、春の暖かさをより感じられるようになってきた4月。この度、9名の先生と1名の職員が着任し、教職員37名、全校生徒107名で令和5年度の土幌高校がスタートしました。今年度も引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。(4月10日現在)

◆1年生担任よりご挨拶

1年1組アグリビジネス科 担任 佐藤 潤一 先生

新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。これまで、約3000名以上の卒業生が農業関連産業をはじめ、様々な職業で活躍されています。皆さんも、土幌高校の学び舎で、校訓「人に対しても ものに対しても 謙虚な社会人となろう」のもと充実した高校生活を送りましょう。

地域の皆様、これまでも多くのご支援とご協力に感謝申し上げます。今後も、販売会やインターンシップ、その他様々な場面での土幌高校の応援をよろしくお願いします。

1年2組フードシステム科 担任 山下 泰矢 先生

この度、新入生の担任となれることを心待ちにしております。集まるべくしてこの土幌高校に集まった子どもたちが、お互いに良い影響を与え合いながら一步一步前に進んで行けるよう、私の持てる力を尽くして参りたいと思います。また、予測困難と言われるこれからの世の中で、「じりつ(自立・自律)」した社会人として活躍していくため、自分なりの武器を身に付けていけるように私自身も生徒とともに成長していきたいと考えています。



入学式の様子

◆令和5年度第74回入学式挙行 ～新入生48名が仲間入り～

昨年よりも多くの新入生を迎えスタートしました。少し緊張した様子の新入生でしたがアグリビジネス科16名、フードシステム科32名の計48名がこの学び舎での学校生活をスタートさせました。



【5月の予定】

- 校内意見発表大会 12日(金)
- 溶接実習 9日(木) 18日(木)
- 全校集会 16日(火)
- 花・野菜販売会 16日(火) ←3年ぶり!
- 保護者懇談会 23日(火)
- 高体連集約大会 25日(木)～27日(土)



←土幌高校の加工品で道の駅の自動販売機をジャック

学校 HP(ホームページ)や Facebook 等で学校の様子を配信しております。

学校 HP	アグリビジネス科	フードシステム科	農業クラブ	



教職員着任式 転入教職員の活躍を期待

新学期が始まりひと月ほどが経過しました。新型コロナウイルスも徐々に沈静化して、桜の開花とともに、子どもたちが躍動する季節がやってきました。

さて、今年も人事異動により、小・中・高で25名の教職員の皆様を本町にお迎えしました。着任された教職員の皆様には、一日も早く新しい環境に慣れ、地域にとけ込んでいただき、士幌町の子どもたちの成長に全力で取り組んでいただくことを期待しています。

今年の着任式も来賓の皆様の出席は自粛していただく中での実施となりました。まず、土屋仁志教育長より、教職員一人一人に辞令が手渡された後、歓迎のことばを



いただき、最後に着任者を代表して士幌小学校川原千暢校長が、「本日辞令を受けました教職員一同、日々の研修を通して教員としての資質向上を図りますとともに、学校・家庭・地域社会の三者連携による学校教育の展開に努め、士幌町の子どもの育成ならびに教育の振興に当たる覚悟です。」と力強く決意の一端を述べました。

今年、本町に着任並びに昇任された教職員の皆様の内訳は次のようになっています。

- ◇校長 3名
- ◇教頭 3名(昇任2名)
- ◇教諭 13名(新採用1名)
- ◇養護教諭 1名
- ◇事務職員 2名(新採用1名)
- ◇期限付教諭 3名

学校間連携の充実 幼保小中高連携教育構想

各学校では地域の皆さんや他の学校の先生方の力をお借りして教育活動を進めています。昨年度はコロナの影響で実施を見合わせましたが、小学校と中学校間では、町内の6年生全員が中学校に集まり、中学校の先生の指導を受ける取り組みを以前から行っています。そして、昨年度は元スケート選手の中学校の先生が小学校でスケートの出前授業を行いました。より専門的な知識や技能を持ち合わせている指導者からのアドバイスは、子どもたちにとって貴重な体験となったものと思います。



他にも、小規模校小学校が集まって多人数で活動する集合学習や中学生によるこども園での保育体験、そして、小学校や中学校に入學する前の体験入学など、様々な形で園・学校の連携が実施されてきました。

令和5年度については、小・中学校の連携をさらに進めるために、中学校の英語の先生が小学校の外国語の授業を担当する取り組みが新たにスタートします。小学校の外国語の学習が中学校とのスムーズな接続につながることに期待するところです。(小中連携)そして、小学校においては理科を専門に担当する先生(専科指導)を置いて、小学校3校の高学年を指導する取り組みも始まります。(小小連携)

教育委員会では、異校種間などの連携を本年度の重点に据えて、「士幌町幼保小中高連携教育」の構想を立ち上げ、町立の土幌高校も含めた関係教育機関の一層の連携を推し進めることとしました。

例えば、「小学生が高校の施設や豊富な教育資源を活用して魅力ある授業ができないかな?」など、多方面から多くアイデアをいただき、新しい発想に立った士幌町ならではの連携教育を目指してまいります。